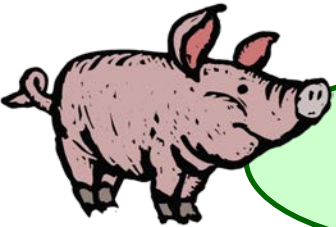


地域の様々な関係者が連携した畜産クラスター事例⑫ 宮崎県

へべす豚プロジェクト会議

地域特産品の「へべす」の加工残渣飼料を給与した「へべす豚」の付加価値向上による収益力向上の実現



日向市
(事務局)

JA日向 肉豚部会
: 畜産農家
(実証試験)

JA日向
(へべす残さ供給)

へべすとは・・・
カボスに似た香酸柑橘。
日向市原産、本市のみ
で生産されている地域特
産品。

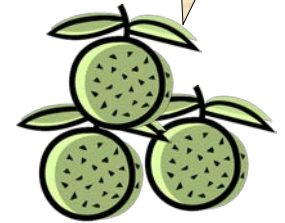
宮崎県
(飼料設計指導
・実証試験)

南日本ハム(株)
(市場調査)

宮崎県畜産協会
(経営・技術指導)

宮崎県経済連
(経営・技術指導)

南九州大学
(肉質分析
・食味試験)



【実証内容】

肉豚にへべす残渣飼料を給与し、肉質・嗜好性等を分析・評価し、優位性を実証。

この結果を踏まえ、「へべす豚」のブランド確立を図る。

【効果】

- ①付加価値の向上
肉質・嗜好性等の優位性の
実証による付加価値向上
- ②飼料価格の低減
未利用資源の活用による
飼料費の低減

地域全体で、2,270千円の収益増

【地域の収益性向上】

1,600頭 × 75kg/頭 × 11円/kg = 1,320千円

【飼料費削減】

1,600頭 × 594円/頭 = 950千円

※JA日向肉豚部会の年間出荷頭数8千頭のうち、20%
(1,600頭)を高付加価値品である「へべす豚」として販売